

今週の言葉



人に何かを伝えるためには

「他人に気持ちを伝えることは難しい。」「自分のことなど誰もわかってくれない。」など、皆さんはこのように感じ、悩んだことはありませんか？

情報学の世界では、情報の重要な性質が次の4つの言葉で表現されています。

◎ 先有傾向

情報は、受け手の関心や知識・経験により、その内容が変化することがある。

◎ 情報拡散

情報は、メディア（人を含む）を通過するたびに内容が変質することがある。

◎ 情報代謝

情報は、寿命を持つことがある（必要な時や場所が限られるものがある）。

◎ 情報圧縮

情報は、整理して簡潔な用語やコードなどで表現すると伝わりやすいことがある。



例えば皆さんがLineやメールでメッセージを送る際、スタンプや絵文字・顔文字を使うことがあるでしょう。これは気持ちを正確に伝えるための「情報圧縮」です。

さて、これらの4つの性質は、情報を「他人に伝えることがいかに難しいか」を示しています。つまり、自分が「伝えた」と思っているでも、相手には十分に伝わっていない場合があるということです。そして、**伝わらない相手（受け手）を攻めてはいけない**ということでもあります。

では、どのようにすれば自分の思いを他人に伝えることができるのでしょうか。方法はいくつかありますが、そのひとつとして欠かせないのは、**自分の考えや思いを必ず述べる**ことだと思います。自らの考えや思いを他人に話すということは、自分を晒すことでもあり、少なからず勇気が必要ですし、相手を信じる必要もあります。

残念ながら、世の中には他人の発言を批判するが、自分の考え（対案）を言わない人が多くいます。何も考えていないか、あるいは自分を守ることしか考えていない愚かな人です。皆さんは、決してそのような社会人になってはいけません。



さて、このことは、皆さんが就活の面接に臨む際にも意識すべき点です。面接官が皆さんの口から聞きたいのは、「〇〇しました」「〇〇でした」など事実についての発言だけではありません。皆さんが何を感じたのか、何を考えているのかを聞きたいのです。面接官と皆さんは初対面です。皆さんがどのような人間なのかを、その考えや思いを聞くことによって少しでも深く知りたいと思っています。

まずは他人が話していることを真剣に聞き、次に自分の考えや思いを語ります。**口下手でも気にする必要はありません**。また、人の思考には正も誤もありませんから、若い皆さんは自分をさらけ出すつもりで堂々と話しましょう。

なお、自分の思いを語る際には特に「**礼儀**」に注意してください。延々と独りで話し続けるのは迷惑がられることがありますし、相手や誰かが話しているのを遮って話し始めるのは、マナーとして最低です。**決してTVの討論番組のマネをしないように！**

キャリアサポート委員会 星 雅丈

速報！ 地元就職フェア情報

地元福知山で開催される就職フェアの速報です。まだまだ採用活動が続きます。積極的な参加をお勧めします。

月 日	就職フェア	開催場所	受付開始
福知山 11 / 1 (日)	地元企業合同就職フェア	ロイヤルヒルホテル福知山	12:00~

※詳細情報は、掲示板に張り出しています。

キャリアサポート室

